

【指名選手DP】

ソフトボール独特のこのルール。ルールブックを見てもわかりにくいこのルールについて解説します。

1 指名選手とは

野球ではDH(指名打者)として知られています。

指名選手は打者をDP(Designated Player)、守備者をFP(Flex Player)と表現します。

DP	攻撃を行う選手	FP	守備を行う選手
	再出場(リエントリー)できる		再出場(リエントリー)できる
	守備にも参加できる		攻撃にも参加できる
	守備のみはできない		攻撃のみにはできない

<覚えてほしいポイント>

①	FPは攻撃のみのプレイはできない
②	DPは守備のみのプレイはできない
③	DPとFPは同時には攻撃できない
④	DPおよびFPのいずれの交代についても、必ず通告しなければならない。

2 オーダー表への記入方法

オーダー表 (例)			
打順	守備	選手名	UN
1	6		
2	4		
3	3		
4	DP	A君	
5	5		
6	8		
7	7		
8	9		
9	2		
FP	1	B君	

① DPは1～9の打順記入欄に記入する。

守備欄に「DP」と記入する。

② FPは1～9の打順記入欄には記入しない。

欄外の打順欄に「FP」、守備に「守備位置No」を記入する。

③ このオーダーではDPとして4番にA君が、

FPとして投手のB君がスターティングオーダーに登録されています。

3 選手交代

DPの打順は試合中変更できない	⇒	4番は選手が変わっても常にDPとなる	(注)DPは解除されます	
DPの再出場は1回のみできる	⇒	DPは元の打順に戻って、攻撃できる。		
FPの再出場は1回のみできる	⇒	DPの打順でのみ攻撃できる。		
DPが守備者となる場合	⇒	FPと交代する	⇒	FPは4番打者になり、A君退出 (注)
	⇒	FPを再出場に戻す	⇒	DPの打順のまま守備を行う。
	⇒	FPを除く守備者と交代する	⇒	その守備者がOPOになる(※) (※)OPO(Offensive Player Only)という

4 ペナルティ

ペナルティは相手チームからのアピールがあった場合のみ適用する

処置	適用範囲
(1) 監督と違反者が退場になる。(適用範囲②のみ)	① 無通告交代 ② 再出場違反 ③ DP違反 ④ 失格選手の出場 ⑤ 代替プレーヤー違反
(2) 違反者は正しい交代者と交代する。	
(3) プレイはすべて有効である。	
(4) 違反者がさらに出場したときは、没収試合になる。	

アピールのタイミングによる処置の違い

守備側の違反	投手が投球動作に入る前の場合は、攻撃側監督にどのプレーを生かすか選択権がある。
	投手が投球動作に入った後の場合は、攻撃側監督には選択権がなくプレーはすべて生かされる。
攻撃側の違反	攻撃完了前の場合は、正しい交代者に代わりカウントを引き継ぎ、プレーを続行する。
	攻撃完了後、投手が投球動作に入る前の場合は、違反者はアウト、プレーは無効になる。
	攻撃完了後、投手が投球動作に入った後の場合は、正しい選手と交代しプレーは有効になる。